

11月は児童虐待防止月間です

～児童虐待の現状について～

本庁少子化対策課

平成17年4月に施行された改正児童福祉法で、市が児童相談の第一窓口として位置付けられました。地域の中の子育て支援や、子どもの人権と命を守るという観点から、児童虐待、配偶者暴力問題に関して、日ごろから接する機会のある関係機関との連携を図るため、市では、平成18年4月に「伊賀市子どもの虐待及び配偶者からの暴力防止ネットワーク会議」を設置しました。伊賀児童相談所の平成18年度統計資料から、市の児童虐待の現状を考えてみましょう。

【児童虐待の現状】

通告者・通告機関の状況

虐待の通告者で一番多いのは、市社会福祉事務所で14件、その次が、家族・親戚で8件となっています。

最近では、学校や保育所（園）などからの相談が増えています。

虐待者の状況について

虐待を行う人については、市で一番多いのが実母で29件、二番目が実父で10件となっています。厚生労働省が虐待者の8割が家族と報告していますが、そのうち6割が実母、2割が実父と言われており、そのデータとよく似た傾向を示しています。

血縁関係のない父や母については、件数としては少ないですが、重篤なケースに発展することがあります。

児童虐待相談処理件数の推移

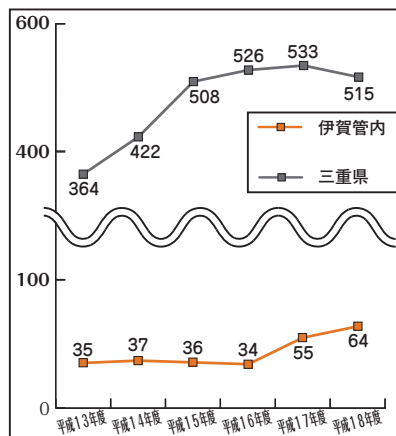
および伊賀市の件数について

児童相談の第一窓口が市町になったことで、児童虐待相談件数が非常に膨れ上がっています。

市は児童福祉事業を主体的に実施し、日常的に市民と接する身近な機関であることや、学校、保育所（園）から市を経由してというケースが多かったことが原因と考えられます。

平成13年度から16年度の件数は30件台でしたが、平成17年度は、55件と急増しています。

平成18年度も64件の相談があり、増加傾向にあります。



環境フェスティバルを開催しました



10月28日（日）に、ウエルサンピア伊賀屋内テニスコートで、市民フェスタ秋として健康まつりと環境フェスティバルを開催しました。

環境フェスティバルでは、企業および団体の展示コーナーや夏休みの期間を利用して市内の小・中学生に募集したりサイ

クル工作・環境保全啓発ポスターの展示を行いました。

約2,000人の来場者があり、各展示コーナーでの実演などを通じて、身近な環境保全への取り組みを体感した一日でした。

伊賀市環境基本計画にかかるとの施策や事業内容を公表



市では、「伊賀市環境基本計画」を策定後、環境保全に関する施策・事業を総合的・計画的に進めるため、施策や事業の実施計画の内容と結果を毎年度公表していきます。

市ホームページで「伊賀市環境基本計画」および「伊賀市環境基本計画平成19年度実施計画」を掲載していますのでご覧ください。

【市ホームページ】

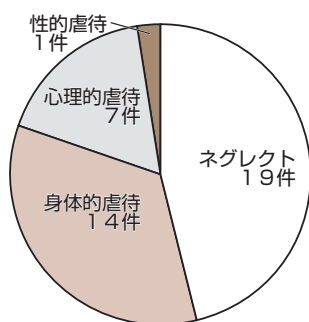
<http://www.city.iga.lg.jp/>

【問い合わせ】

本庁環境政策課 ☎22-9637



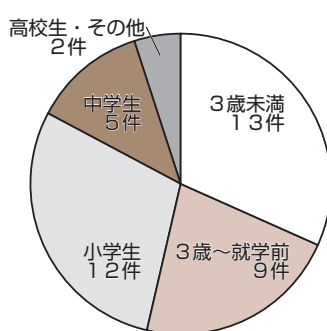
虐待の種類について



虐待は、身体的虐待、ネグレクト（養育怠慢）、心理的虐待、性的虐待の4つの種類に分かれますが、その中でネグレクトが19件と全体の半分近くを占めています。

それに比べて性的虐待は非常に少ない件数ですが、なかなか発見が難しいと言われ、実際は表面化していないケースが多いのかもしれない。

虐待を受けた子どもの年齢について



虐待を受けた子どもの年齢は、3歳児未満が13人、3歳から就学前までが9人で、就学までの割合が約53%となっていて、年齢が上がっていくに従って、少しずつ件数が減少します。

年齢が低いほど死に直結するおそれがあるので、年齢の低い子どもの虐待を疑った場合は、できるだけ早く相談・通告をする必要があります。

児童虐待の相談・通告先

機関	電話番号
伊賀市	本庁少子化対策課 ☎22-9609
	伊賀支所健康福祉課 ☎45-9127
	島ヶ原支所健康福祉課 ☎59-2163
	阿山支所健康福祉課 ☎43-9711
	大山田支所健康福祉課 ☎47-1151
	青山支所健康福祉課 ☎52-3228
	教育委員会学校教育課 ☎22-9676
	本庁人権政策課 ☎22-9631
	本庁男女共同参画課 ☎22-9632
本庁健康推進室 ☎22-9653	
三重県伊賀児童相談所 (三重県伊賀庁舎内)	☎24-8060
伊賀警察署生活安全課	☎21-0110
三重県中勢児童相談所 (午後5時以降や土・日曜日・祝日の緊急時)	☎059-231-5902
DVが関わっている場合 配偶者暴力相談支援センター (三重県女性相談所)	☎059-231-5600
お近くの民生児童委員 子どもが通っている学校や保育所(園)・幼稚園など	

【あなたの声が子どもを救います】

以上のような統計から、伊賀市子どもの虐待及び配偶者からの暴力防止ネットワーク会議事務局は、多様化する相談に対応するため、関係機関の専門的な知識と、より強い連携の必要性を考えています。

しかし、虐待を防止、発見するためには、関係機関だけでなく、普段子どもと関わる人々も、認識や理解をより深めていく必要があります。

何らかのサインに気づいて、だれかが声を上げれば助かる命があります。

皆さんも、次のような子どもを見かけたらご相談ください。

- 夜遅くまで遊んでいた、はいかいている
- 夜または寒い中、何時間も外に出され、家に入れないでいるのを何度も見かける
- 衣服や体が極端に不潔である
- 常にお腹を空かせていて、食事を与えると隠すようにつがつ食べる
- 体の傷や家族のことにに関して、不自然な答えが多い

また、現在子育て中のお父さんお母さん、子どもの養育について悩みや相談があれば、気軽に話してください。

環境保全市民会議

環 境 ツ ア 一 参 加 者 募 集

今回は、岐阜県にある世界最大級の淡水魚水族館で、魚類だけでなく、水生昆虫、鳥類、水生植物などと水辺環境を見学し、「自然環境と人間の共生」についても学習します。

皆さんふるってご参加ください。

【とき】 12月9日(日) 午前7時50分 集合
午前8時 出発
午後5時30分 帰着予定

【見学場所】

岐阜県各務原市 河川環境楽園(公園)内
「アクア・トトぎふ」、「自然共生研究センター」

【集合場所】 市役所南庁舎西玄関(上野西小学校側)

【定員】 40人(先着順)

【資料代】 大人2,000円 小・中・高校生1,500円

【その他】

- ・中学生以下の方は、保護者同伴をお願いします。
- ・昼食は、公園内で各自おとりください。

【申し込み】

11月20日(火)午前9時から電話で受け付けます。

【申込先・問い合わせ】

本庁環境政策課 ☎22-9637

可燃ごみ収集状況の推移 (指定ごみ袋制度導入による比較) 平成19年10月末現在 単位: kg

	前月までの累計	10月	累計
制度導入前(平成18年)	13,866,250	1,618,290	15,484,540
制度導入後(平成19年)	13,050,190	1,478,030	14,528,220
差 引 (増 減 率)	△816,060 (△5.89%)	△140,260 (△8.67%)	△956,320 (△6.18%)